

青森県型地域共生社会の実現に向けた地域経営確立事業

(R3~R5)

現状と課題

現状

- ◆これまでの取組により、
①地域経営体数の育成目標300を達成

<地域経営体数(県調べ)>
 H23年度 現状・R1年度 178 → **414** (目標・R2年度 300経営体)

- ②地域経営体が着実にレベルアップ

発展段階	H28	H29	H30	R1	増減
第4段階(地域貢献)	4	6	5	8	↑4
第3段階(経営発展)	46	49	57	66	↑20
第2段階(体制整備)	219	233	274	340	↑121
合計	269	288	336	414	↑145

- ◆外ヶ浜町では、地域経営体と地域が密接に結びつき、地域全体の経済や暮らしを守っていく「地域経営」の仕組みを構築しているが、県内の事例は少ない。

課題

- ◆地域共生社会を支える地域経営体の更なるレベルアップが必要
- ◆「地域経営」の仕組みを確立させた集落の拡大が必要
- ◆モデル集落の育成を伴走支援する中間支援組織の育成が必要

事業内容

青森県型地域共生社会の実現に向け、地域経営体のレベルアップを図る取組を支援するとともに、「地域経営」の仕組みの確立に向けたモデル集落及びそれを伴走支援する中間支援組織の育成に取り組む。

1 地域貢献型マネジメント定着事業(継続)

- ◆地域の課題を検討し解決を図るためのマネジメント部会を市町村単位で開催し、課題解決に向けた地域提案型の取組を支援
(地域貢献活動を行う自治会や社会福祉法人等の地域関係者との連携必須)
- ◆事業主体：市町村担い手育成協議会等(補助率：ソフト定額)

2 地域貢献型経営体レベルアップ推進事業(拡充)

- ◆マネジメント部会での検討を受け、地域貢献の取組及びそれに向けた経営発展の取組を支援
- ◆事業主体：地域経営体等
 補助率:ソフト定額、ハード1/2
 対象経費:地域経営体や地域運営組織が行う地域貢献活動に係る経費

3 中間支援組織支援型モデル集落育成事業(新規)

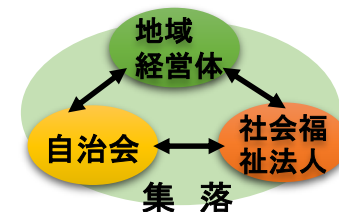
- ◆NPO等の中間支援組織の伴走支援による、地域経営体を中心となった農山漁村づくりに向けたモデル集落の育成(県内6モデル集落)
- ◆農山漁村づくりのスキルを持つ中間支援組織となるNPO等の育成に向けた研修会の開催等による支援及び集落支援マニュアルの作成(大学委託)
- ◆市町村、農協等関係者の地域経営の仕組みづくりに向けた意識啓発を図る研修会の開催及び地域共生社会の実現に向けた有識者によるサポート等

事業効果

地域経営の仕組みを確立させた集落の拡大

具体的な事業成果(見込み)

- ◆第4段階(地域貢献)の経営体数
→R5年度までに計31経営体
- ◆「地域経営」の仕組みづくりに取り組む市町村
→県内全市町村で実施



今後の方向性

- ◆集落を支える地域経営体のレベルアップに向けた継続的な取組
- ◆モデル集落の取組を県全域に波及